

皆瀬頭首工流域の水田水温と気温・日照時間の関係（１９９９年）

早期警戒情報においては、気温・日照時間・降水量が冷害危険度地帯別に過去７日間の移動平均で示されています。これらのデータと水田水温（午前９時測定）との関係を整理してみました。皆瀬頭首工流域にもっとも近い監視地点アメダス横手を使用しました。

１９９９年度は水温測定が日単位で測定されたため、過去７日間の移動平均を用いて関係を図示することにします。

１）日最高気温と水田水温の関係（図１参照）

- ・最高気温が２５度を超えたのは７月９日で、ほぼ幼穂形成期にあたる。

水温（度）・日照時間

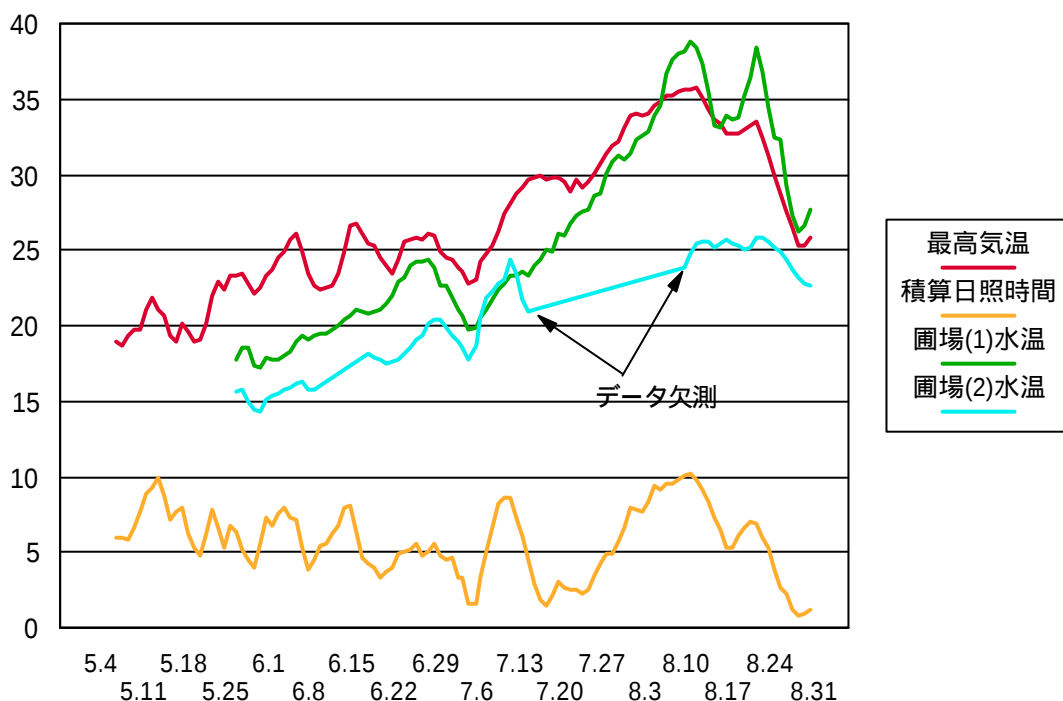


図１ アメダス横手の最高気温と水田水温 (午前 9 時) の推移
1999 年度
過去 7 日間の移動平均

２）日最低気温と水田水温の関係（図２参照）

- ・最低気温が１７度を超えたのは７月３日で、幼穂形成期よりやや早い時期にあたる。
- ・水田水温は全期間を通して最低気温より高く推移した。

水温（度）・日照時間

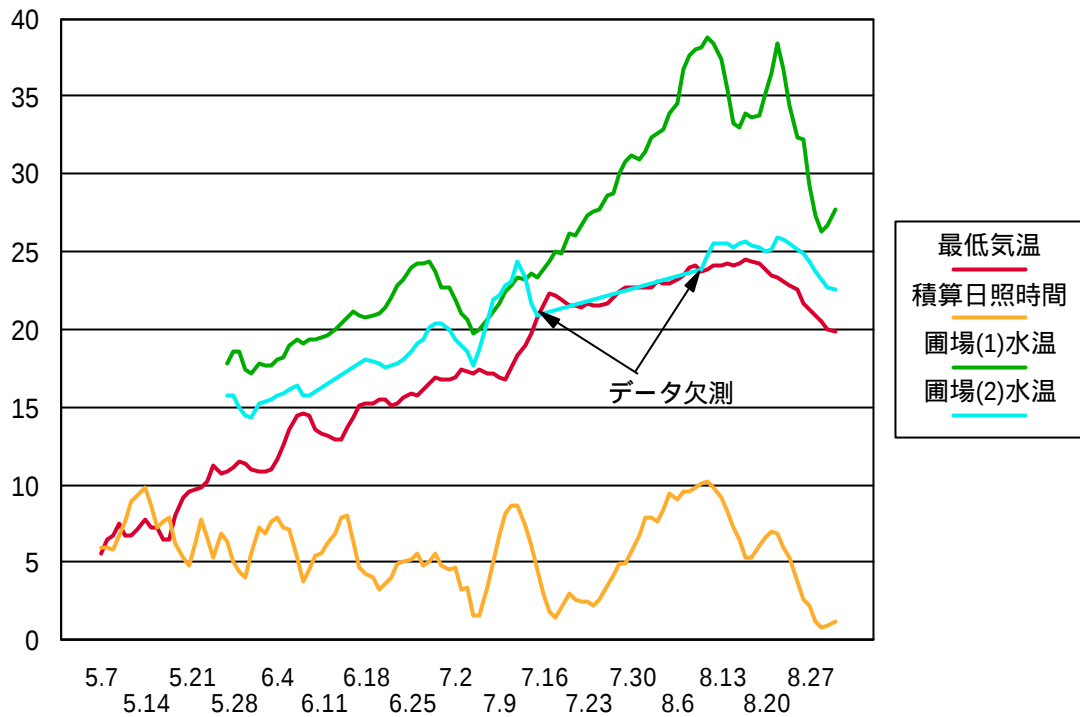


図 2 アメダス横手の最低気温と水田水温 (午前 9 時) の推移
 1999年度
 過去 7 日間の移動平均

3) 日平均気温と水田水温の関係 (図 3 参照)

・ 平均気温が 20 度を超えたのは 7 月 7 日で、ほぼ幼穂形成期にあたる。

水温（度）・日照時間

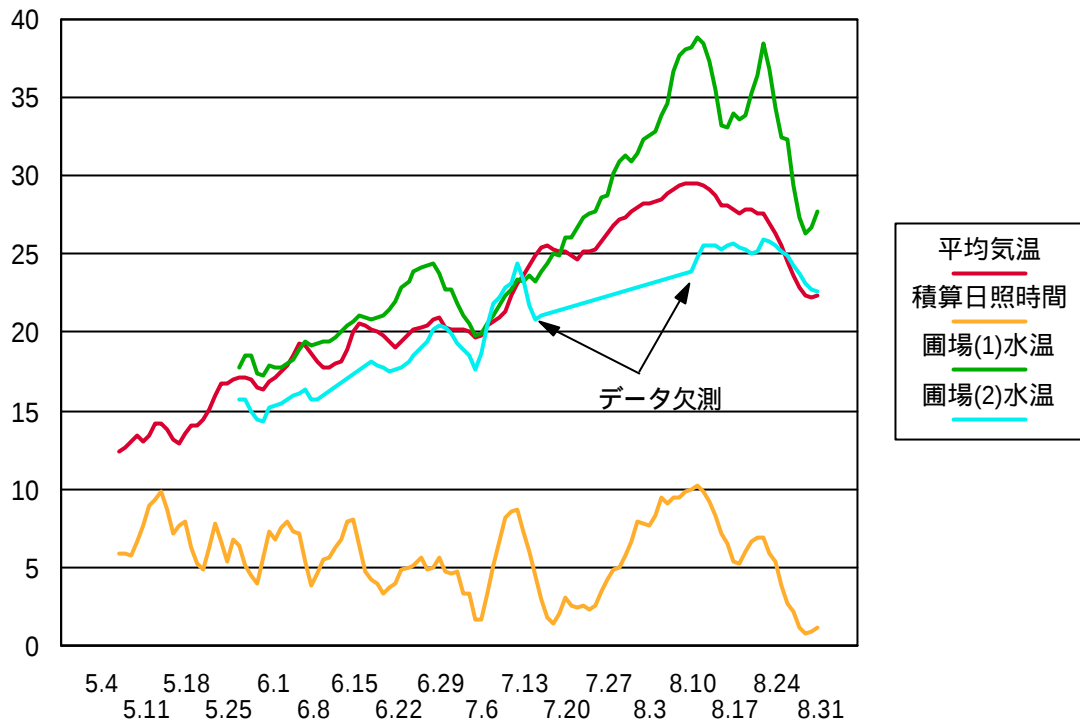


図3 アメダス横手の平均気温と水田水温(午前9時)の推移
1999年度
過去7日間の移動平均